

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズワンハート知多にしの台教室		公表日		2026年 3 月 13	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	1	・国の定める基準でスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	2	・国の定める基準でスタッフの配置をしている。	・個別対応が必要な利用者様に対して、人員配置を行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12		・室内、トイレに手すりを設置。置き型のスロープ使用してバリアフリー化に努めている。	・教室毎に段差があり、解消に向けて工夫する余地がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	2		・エアコン清掃を定期的に行いたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	1	・個別対応できるよう配慮している。	・パーティション等を用いて個別の空間を作る。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12		・常勤スタッフで話し合って改善している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		・保護者向け評価表を活用して保護者様の意向の把握に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		・職員間で話し合いの機会を設け、業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	1	・現在は利用者様と社内の評価のみとなっているが、今後必要に応じて実施検討する。	・外部講師を招き、支援の統一を図る。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12		・内部研修及び外部研修への参加の機会を広く設けている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12		・ブログにて支援プログラムの公表を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12		・面談を6カ月に1度実施し、事業所内での様子や家庭での様子、支援についての質問やニーズなどのアセスメントをその都度更新している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		・支援会議を開催し、1人ひとりの支援について検討、共有を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	2	・見学や体験時、又は送迎の際にニーズを把握したり、行動観察を記録し、支援計画を作成している。	・スタッフ間の共有を徹底する。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12		・アセスメント内容と個別支援目標を関連付け、子供の強みや課題に応じた具体的かつ実行可能な支援内容を明確化している。また、定期的なモニタリングにより見直しを行い、関係機関や家族との連携を図りながら一貫性のある支援となるようにしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12		・ミーティング等ではスタッフ一人ひとりが自由に意見を言い、支援の方法や活動の進め方等共通の目標を持って取り組むことを目指しております。子ども一人ひとりがグループの特性に合わせたプログラム内容を計画している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12			・活動の前後で職員ミーティングを行っております。始まる前には利用者の様子やプログラムの流れ、支援方法を確認し合い、終わった後は常勤スタッフで支援の振り返りを行い、記録し、それらを次回のステップアップや改善につなげるよう努めている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12			・年に2回以上支援計画の見直しを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11	1	・活動を決定する際には利用者様がどのように活動に参加されるのか、参加することによってどのようなメリットが生じるのかを考える。	・利用者様並びに保護者様とスタッフが利用者様の将来を考えて今必要な能力を獲得することができるよう支援を行う。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12		・スケジュールボードや余暇選択ボードを視覚的に示し自己決定支援に繋げている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12			・開催される場合には児童発達支援管理責任者等の適任者が出席している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	1	医療的ケア、と薬が必要な児童の担当医師より指示書をもっている。	・地域医療の連携を図っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12		・情報共有、連絡調整を適切に行えるように努めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12		・相談支援員を通して、保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等と情報共有に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12		・依頼がある際には、情報共有に努めている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	4	・地域の専門機関からいただいた連絡を基に、研修に参加している。	・参加できなかったスタッフには研修報告書を作成し、共有することで事業所全体の支援の質の向上に繋げている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	6	・放課後児童クラブへ送迎を行っています。	・地域の公園で一緒に関わる機会を増やす。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	3	・要請があれば管理者が参加しています。	・今後は管理者だけでなく、児童発達支援管理責任者の研修を受けたスタッフにも参加していただく予定。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		・支援計画に沿った自立課題に取り組んでいただき、ご本人の意欲や気持ちに合わせて活動に取り組んでいただいている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	2	・ペアレントトレーニングのプログラムは行っていませんが、フィードバック時に対応方法などのアドバイスの機会を設けている。	・家族への情報提供の機会を増やしていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12		・契約時にご説明を行っている。また、随時不明点をご説明している。支援の内容については支援計画でお知らせしたり、送迎時等でお伝えさせていただいている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12		年2回保護者様面談を行い、家族の意向を確認させていただいている。コミュニケーションを図ることができる利用者様については意向を確認することができている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12		・面談や送迎時説明をさせていただき同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		・送迎時やお電話等でお話しさせていただいている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	7		・今は行っていないため、今後の課題として検討させていただく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		苦情があった場合、苦情受付・解決担当になげ迅速かつ適切に対応するよう努めている。また社内での共有を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12		・通信は作成していない。HPや専用アプリを使用し連絡体制をとっている。(日々の記録同様)	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12		・利用者様の個人情報が記載されたファイルの保管場所を決めている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		・事業所では利用者様の「選択制」と「意思決定」に重きを置いて支援を行っている。絵カードやジェスチャーを始めとして、利用者様の「声なき声」に対応することができるように情報の収集や共有、支援方法の検討を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	2	・ハロウィンイベント・お買い物、散歩では地域住民の方や近くの方との交流の場を設けている。	・今後も地域の中の事業所として可能な形で事業運営に努める。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12		・マニュアル作成を行い、訓練を行っている。 ・事業所にて非常食の保管をしている。	・すべてのご家族への周知は十分でないため、契約時説明を行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12		・事前に確認し、医師の指示書、与薬同意書を保護者様よりいただいている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	1	・保護者様とも相談しながら対応方法について検討している。食品を扱う活動の場合には、希望により使用する材料をSNS等で送信する等の対応を行っている。	・今後は、医師の指示書をいただく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	2	・防災、感染症についての研修や訓練を実施し、緊急時の役割を明確にしている。日々の支援前後に環境点検を行い、子どもの特性に応じた安全配慮を心がけ、安心できる環境づくりに努めている。	・訓練や研修内容が実践現場でより具体的に活かされるよう、事例検討の充実が必要。またヒヤリハット・事故の記録を分析し再発防止を全体で継続的に検証する体制を強化。職員間の共通理解を深めていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12		・避難訓練の実施状況やヒヤリハット・事故の改善策を送迎時共有し、家庭でも安全意識を高められるよう連携を図っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		・報告書に記載し、スタッフで共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		・外部の研修にスタッフが参加したり、社内で虐待防止委員会を設置し、内部研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12		・契約時、身体拘束に対する同意書をいただき、支援計画に記載している。		